

図 194 不快感 (WAI2 群)

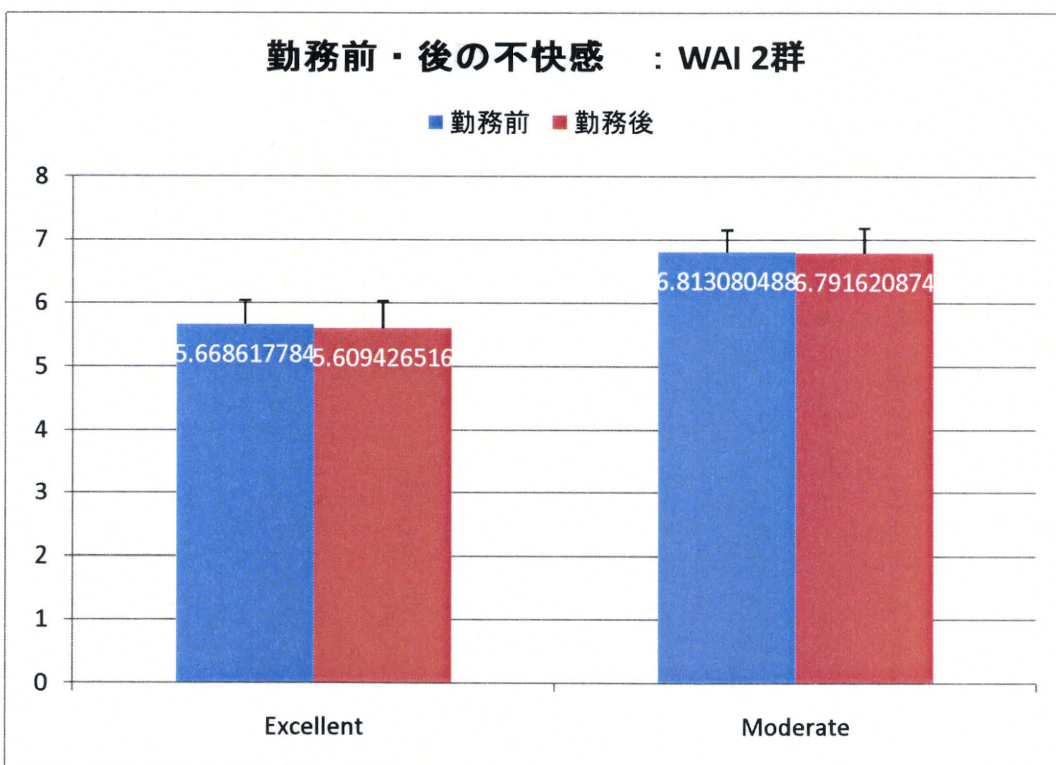


図 195 勤務前・後の不快感 (WAI2 群)

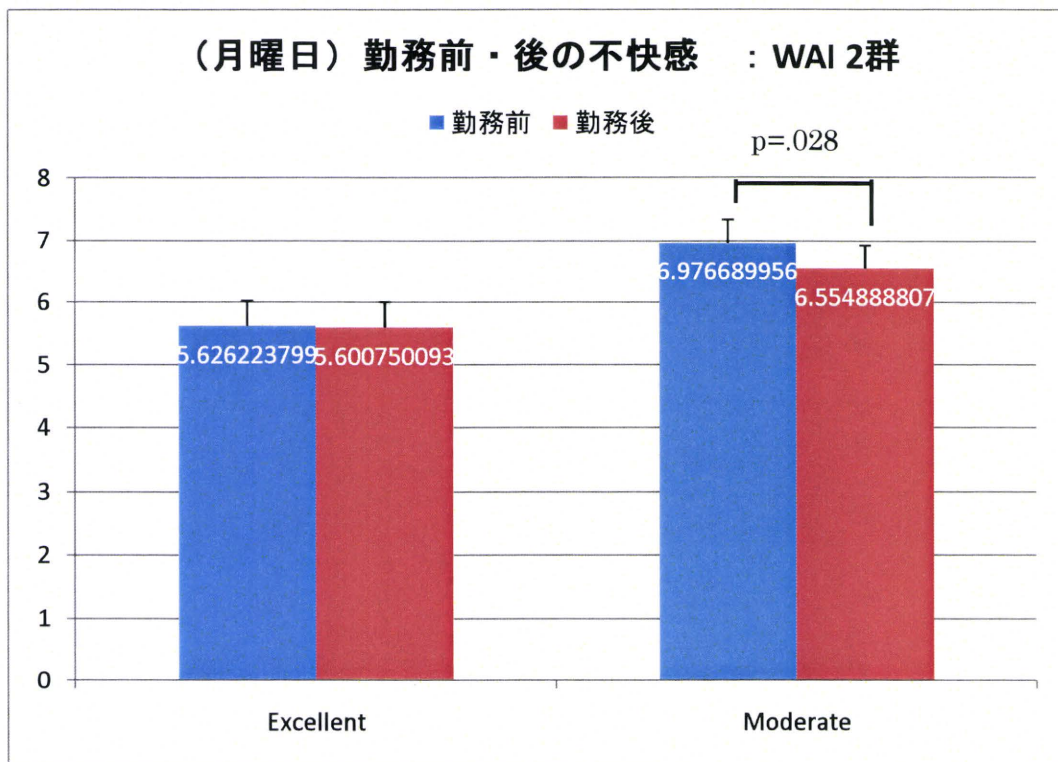


図 196 月曜日の勤務前・後の不快感 (WAI2 群)

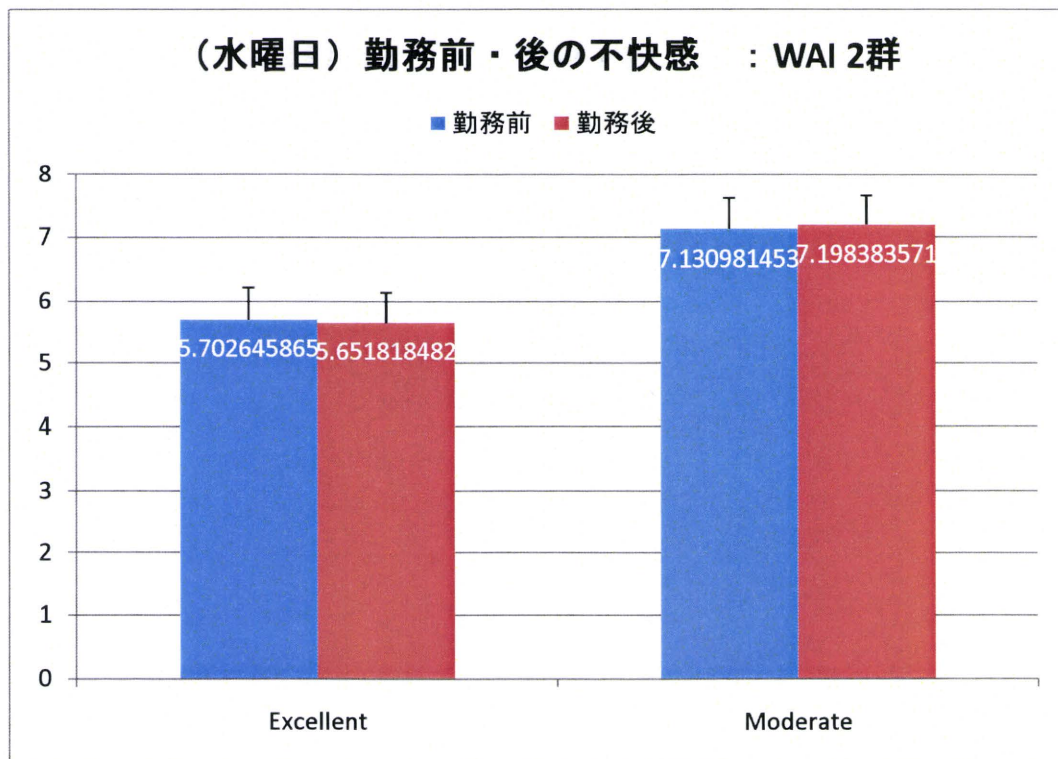


図 197 水曜日の勤務前・後の不快感 (WAI2 群)

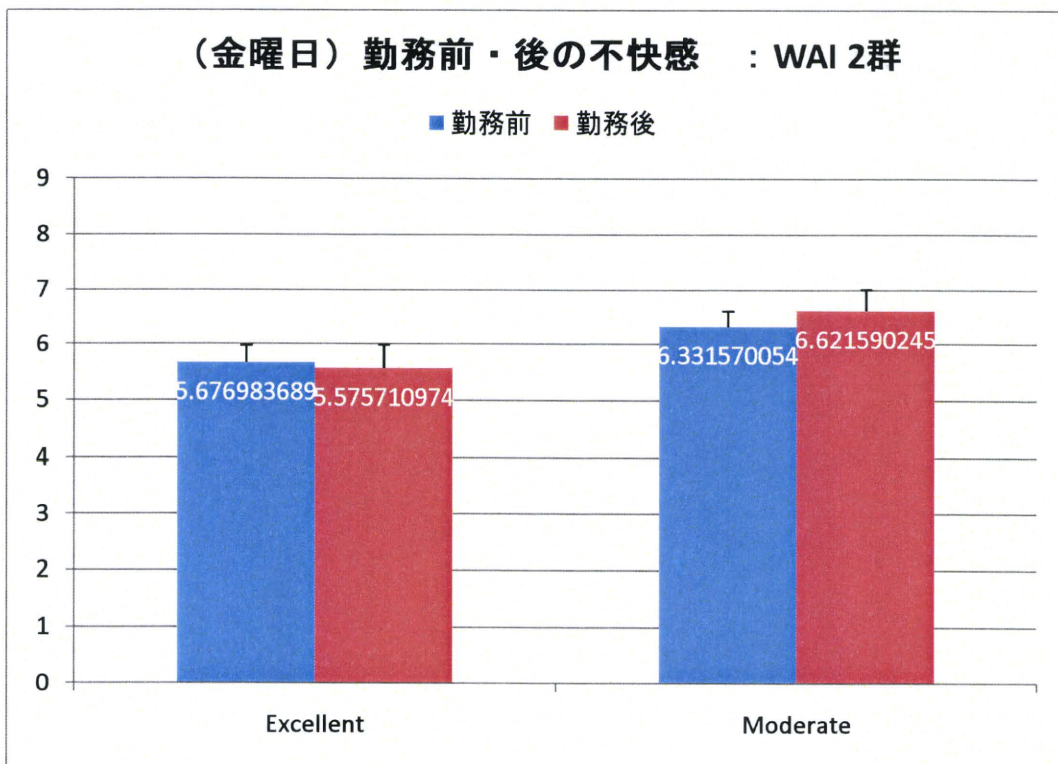


図 198 金曜日の勤務前・後の不快感 (WAI2 群)

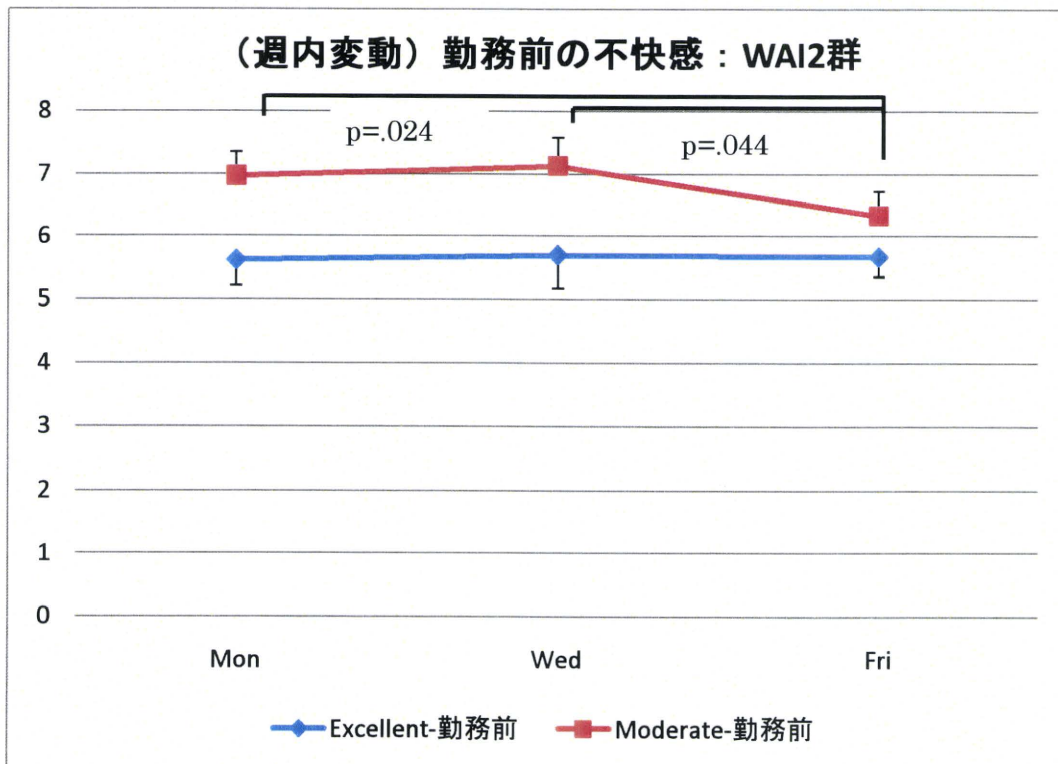


図 199 勤務前の不快感の週内変動 (WAI2 群)

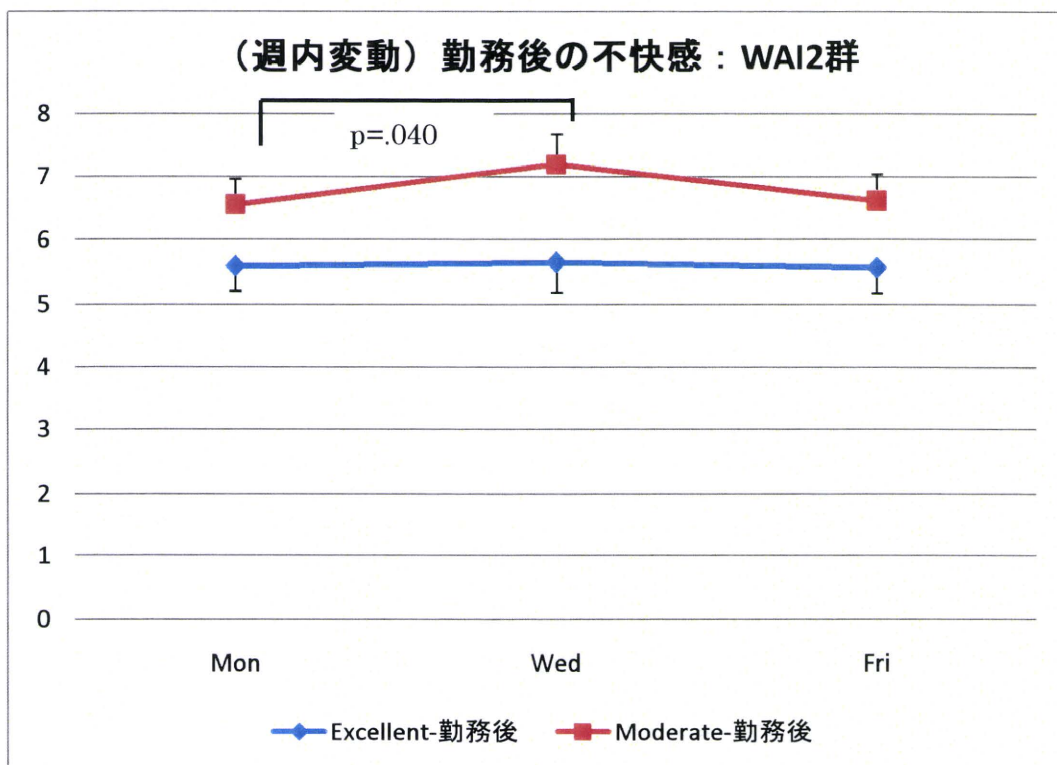


図 200 勤務後の不快感の週内変動 (WAI2 群)

4) だるさ感

「だるさ感」について比較を行った結果、勤務前後の変化は有意であった ($p=.011$)。勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動と WAI カテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAI の主効果は有意であった ($p=.028$)。Excellent 群は、Moderate 群と比較して有意に低い傾向が見られた。年齢の主効果は有意ではなかった ($p=.928$)。

勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Moderate 群において有意差がみられた ($p=.005$)。各測定日の勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Excellent 群において、金曜日の勤務前後 ($p=.044$) に有意差がみられた。Moderate 群においては、月曜日 ($p=.034$)、水曜日 ($p=.015$)、金曜日 ($p=.020$) のいずれにおいても有意差がみられた。

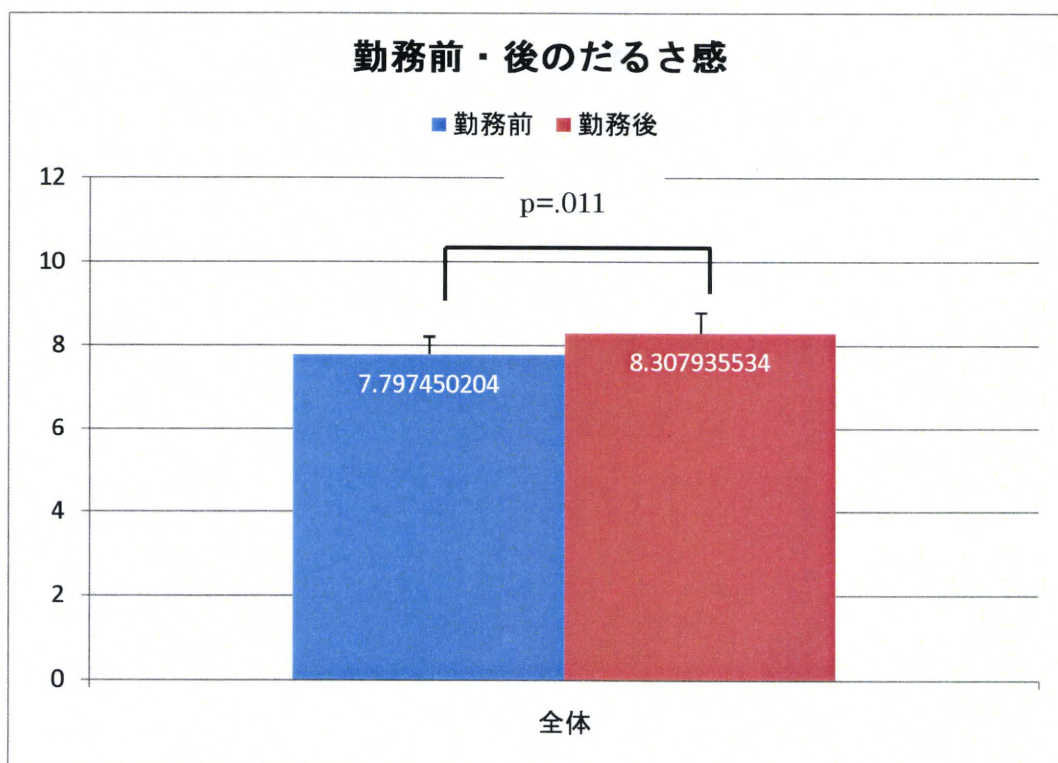


図 201 勤務前・後のだるさ感 (全体)

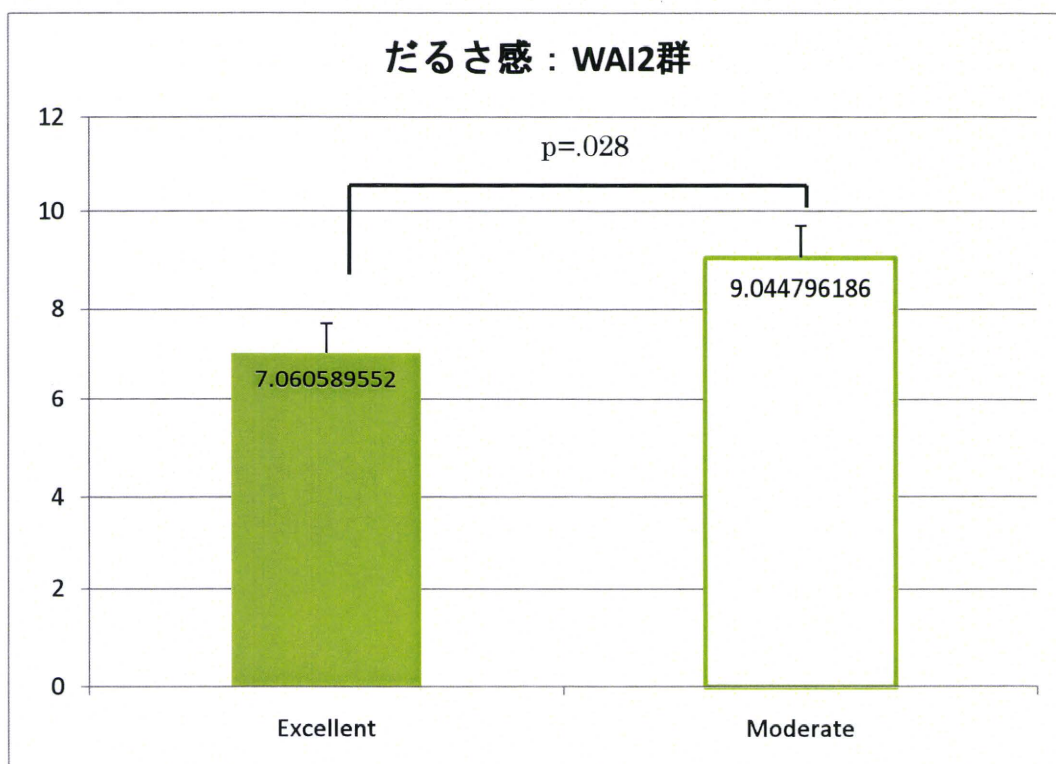


図 202 だるさ感全体 (WAI2 群)

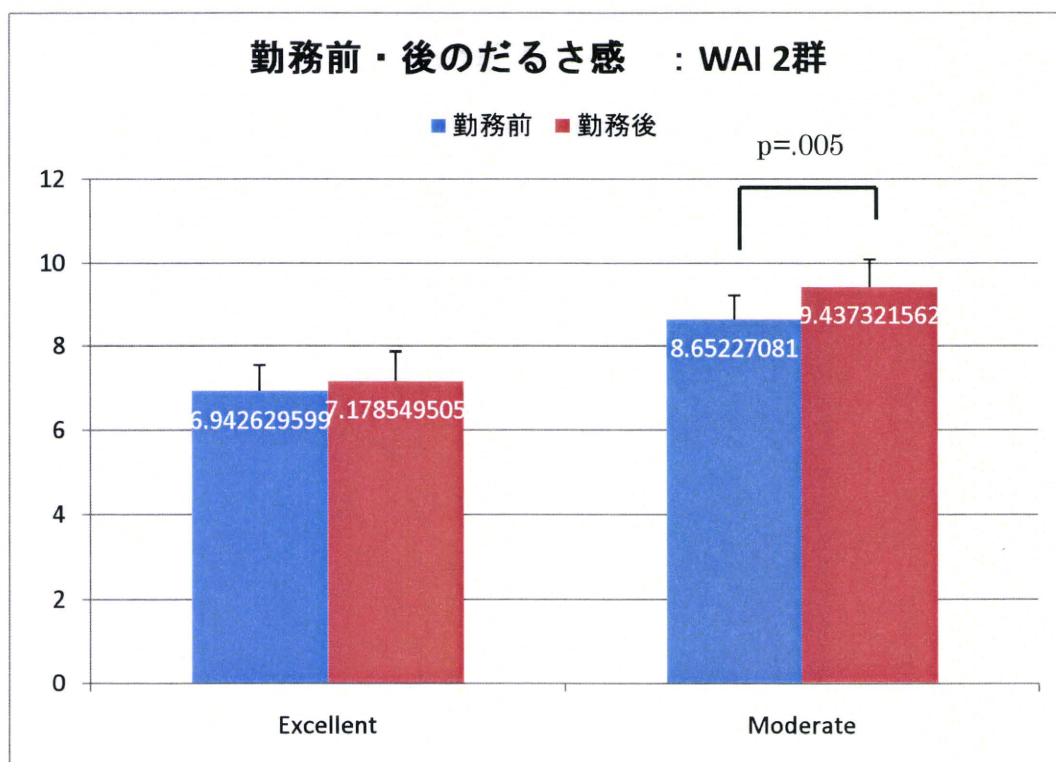


図 203 勤務前・後のだるさ感 (WAI2 群)

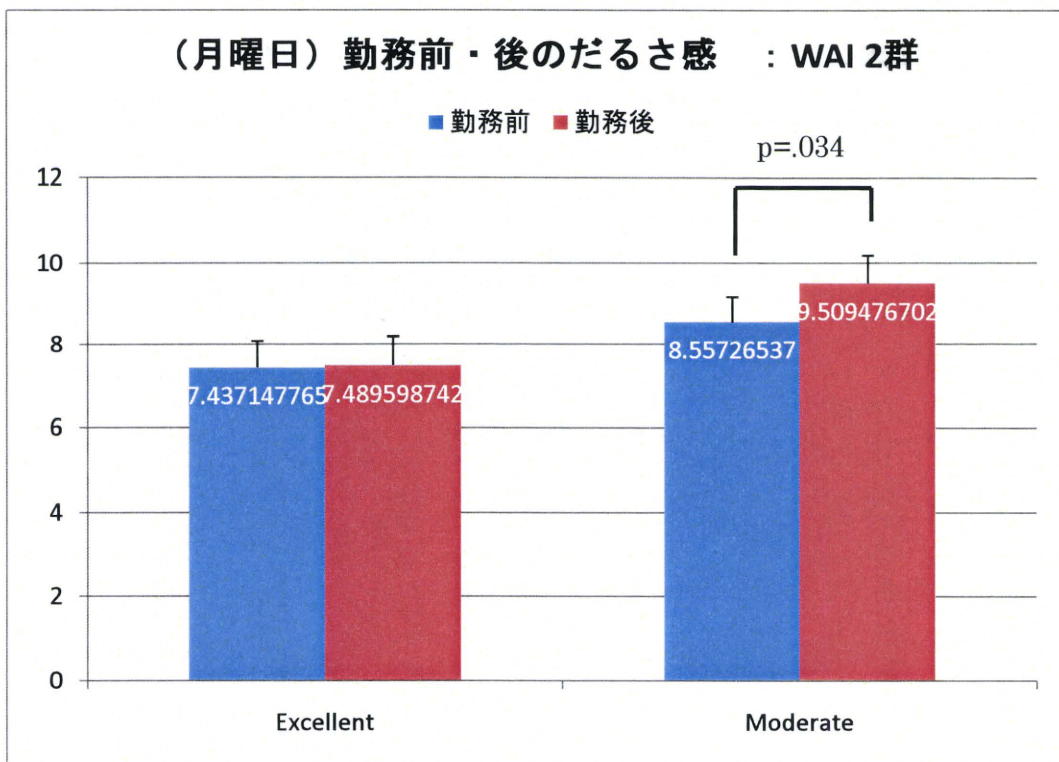


図 204 月曜日の勤務前・後のだるさ感 (WAI2 群)

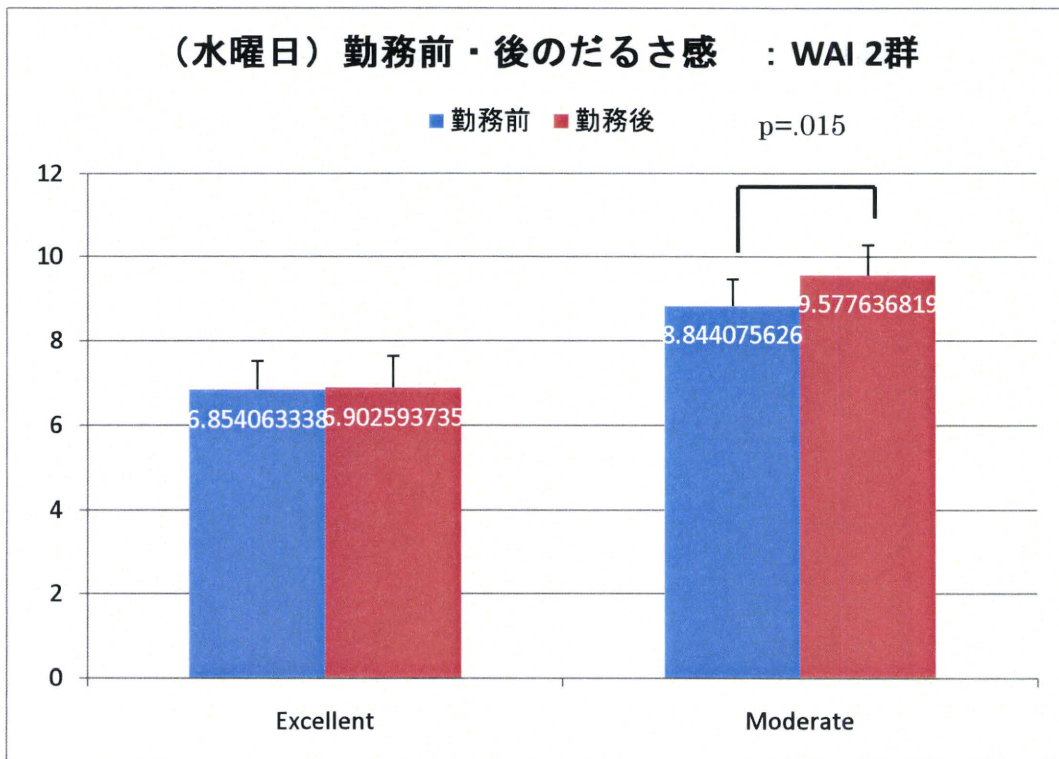


図 205 水曜日の勤務前・後のだるさ感 (WAI2 群)

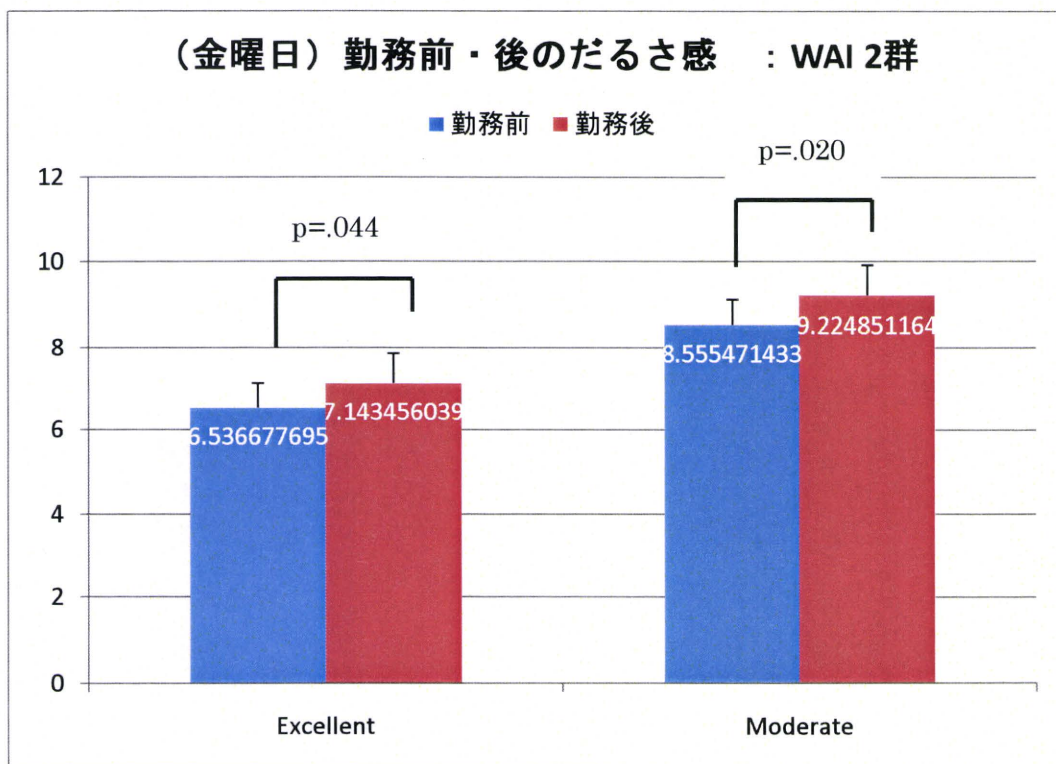


図 206 金曜日の勤務前・後のだるさ感 (WAI2 群)

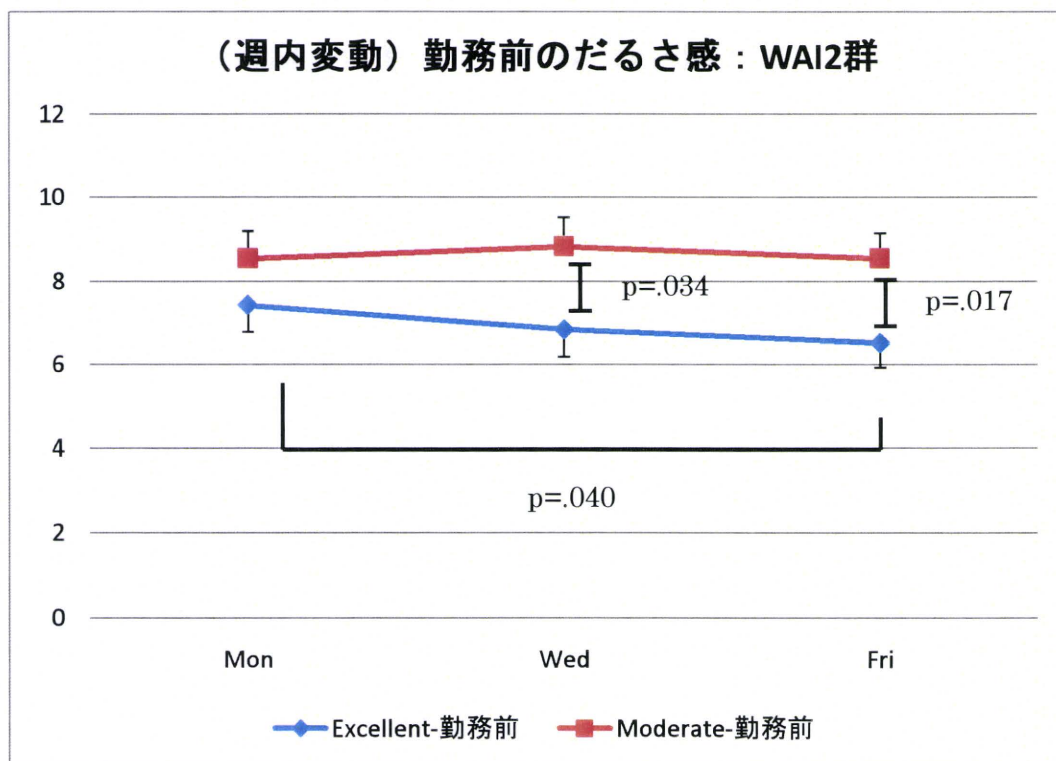


図 207 勤務前のだるさ感の週内変動 (WAI2 群)

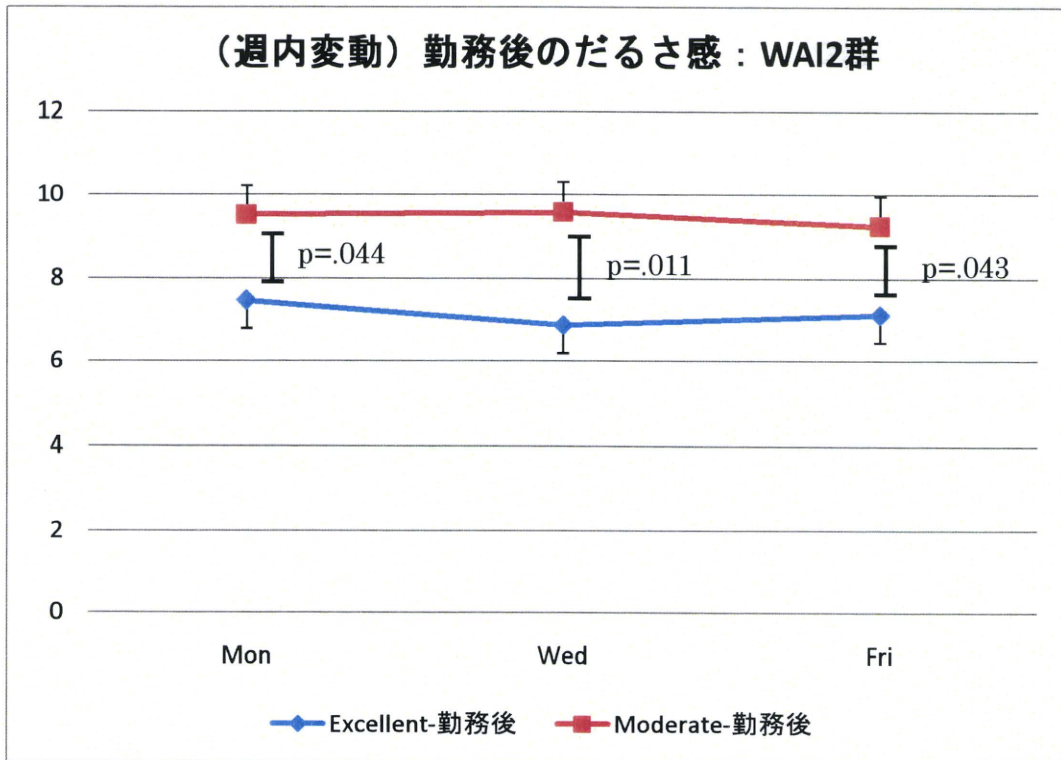


図 208 勤務後のだるさ感の週内変動 (WAI2 群)

5) ぼやけ感

「ぼやけ感」について比較を行った結果、勤務前後の変化は有意であった ($p<.001$)。勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動と WAI カテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAI の主効果ではなかった ($p=.192$)。また年齢の主効果は有意ではなかった ($p=.654$)。

勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Excellent 群、Moderate 群ともに有意ではあった ($p=.019$ 、 $p=.003$)。各測定日の勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Excellent 群における金曜日の勤務前後 ($p=.001$)、Moderate 群における水曜日 ($p=.001$)、金曜日 ($p=.024$) において有意差がみられた。

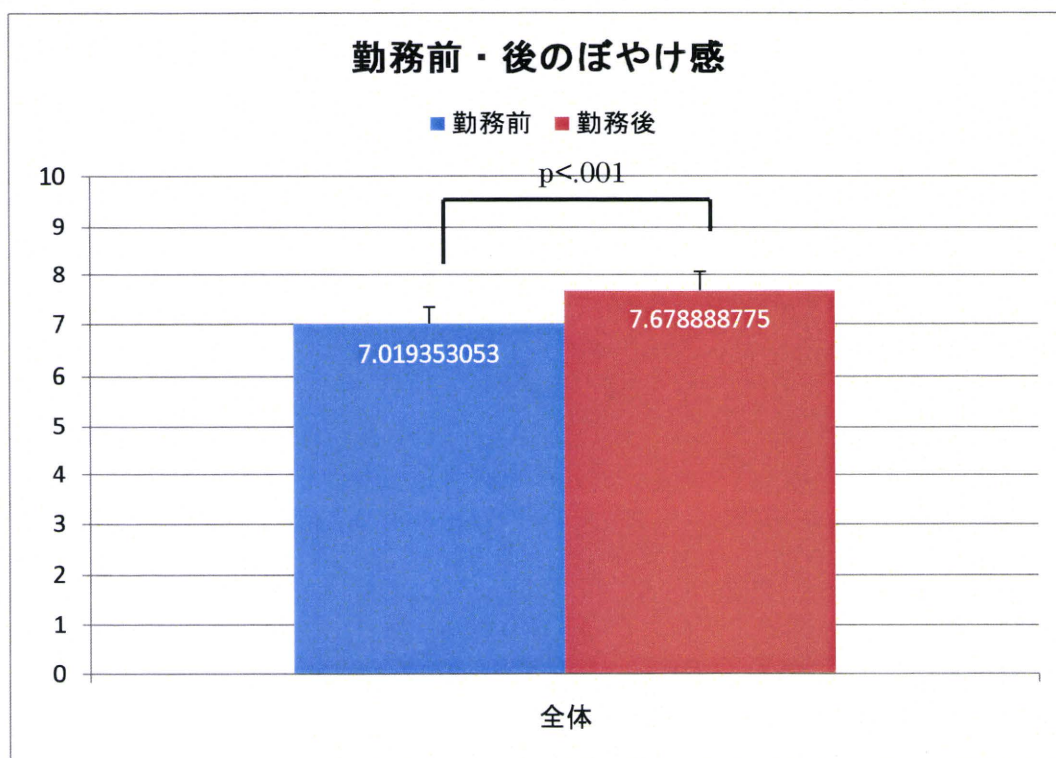


図 209 勤務前・後のぼやけ感 (全体)

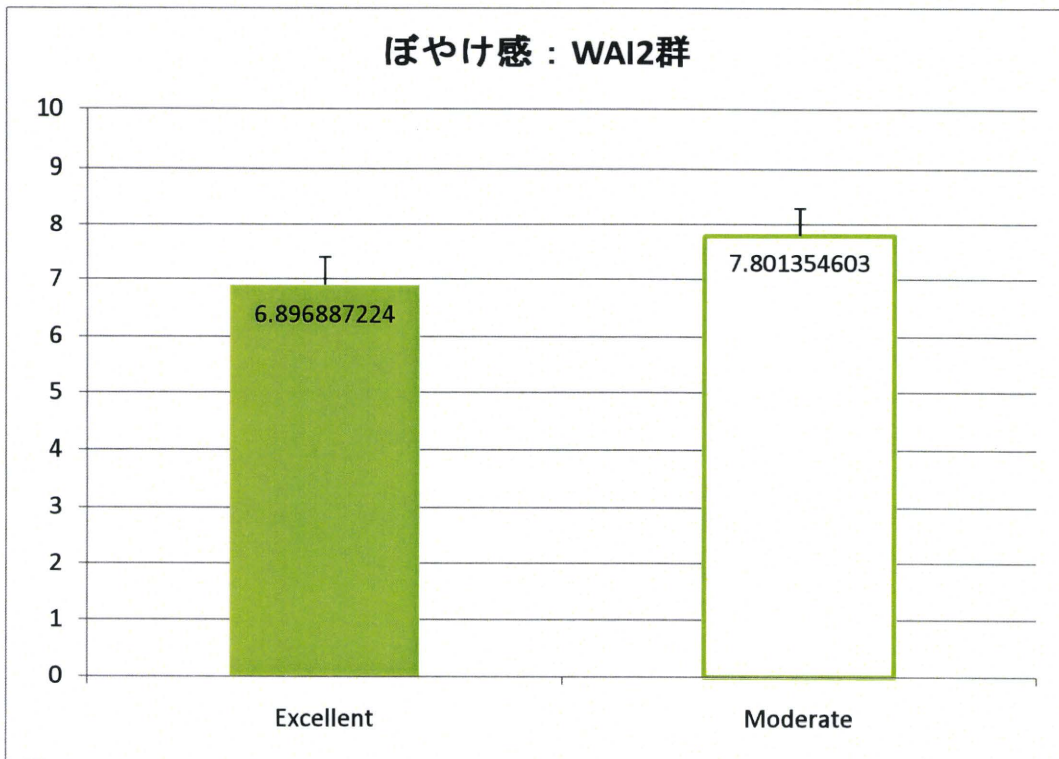


図 210 ぼやけ感全体 (WAI2 群)

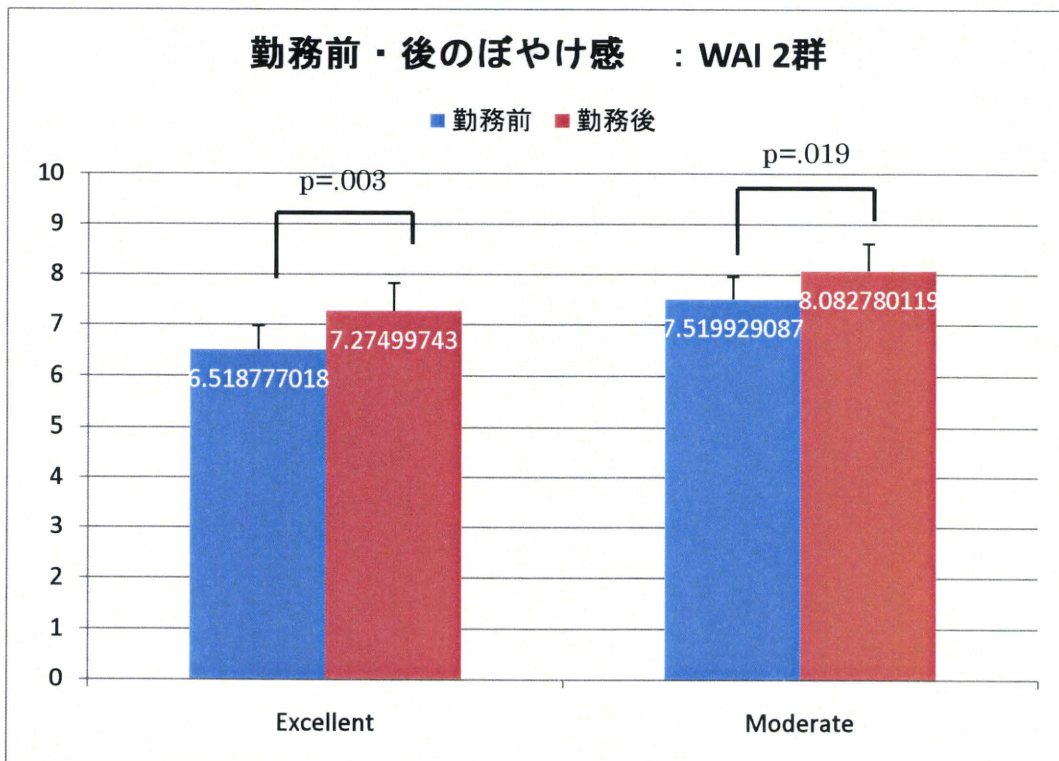


図 211 勤務前・後のぼやけ感 (WAI2 群)

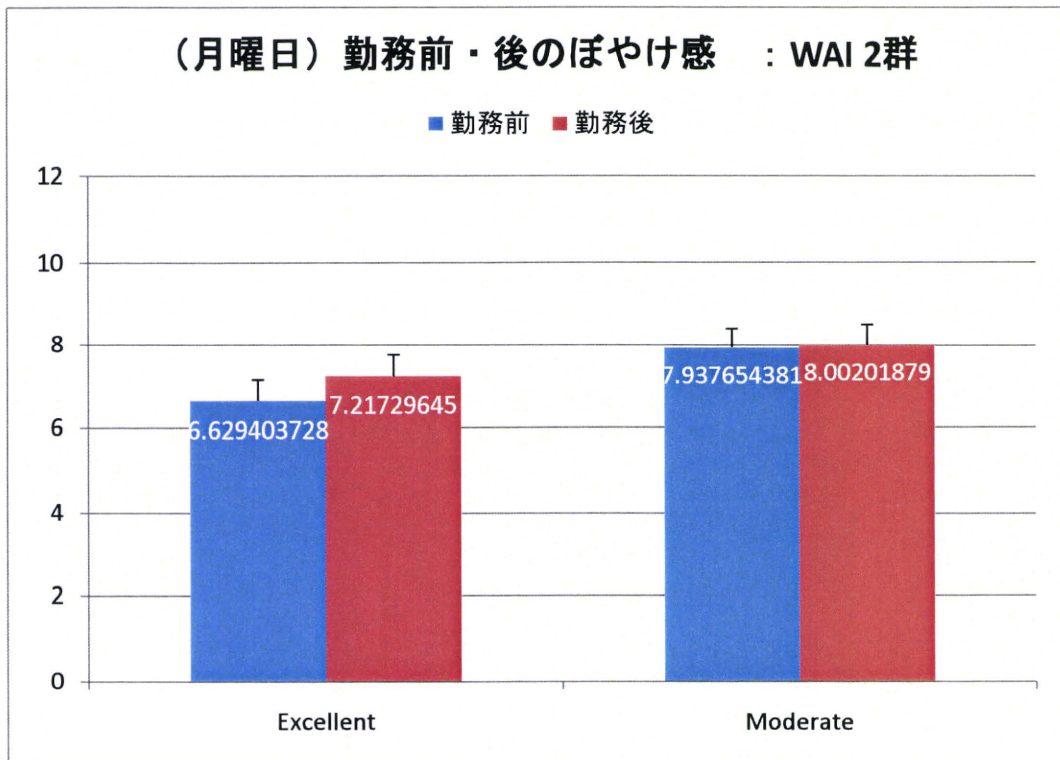


図 212 月曜日の勤務前・後のぼやけ感 (WAI2 群)

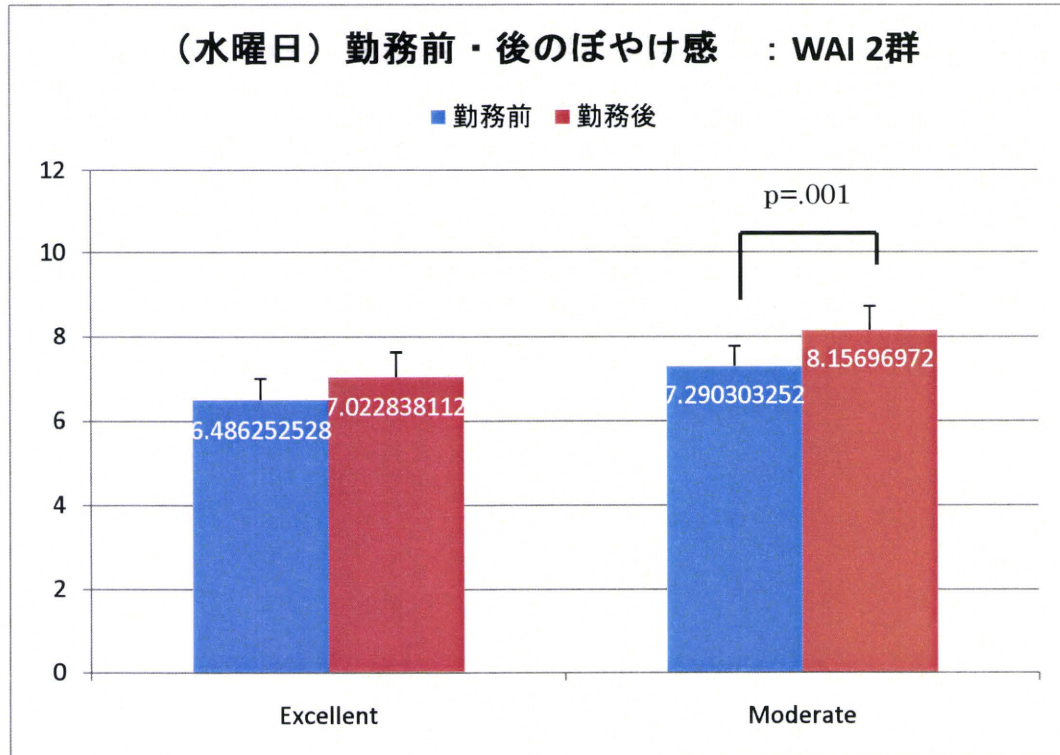


図 213 水曜日の勤務前・後のぼやけ感 (WAI2 群)

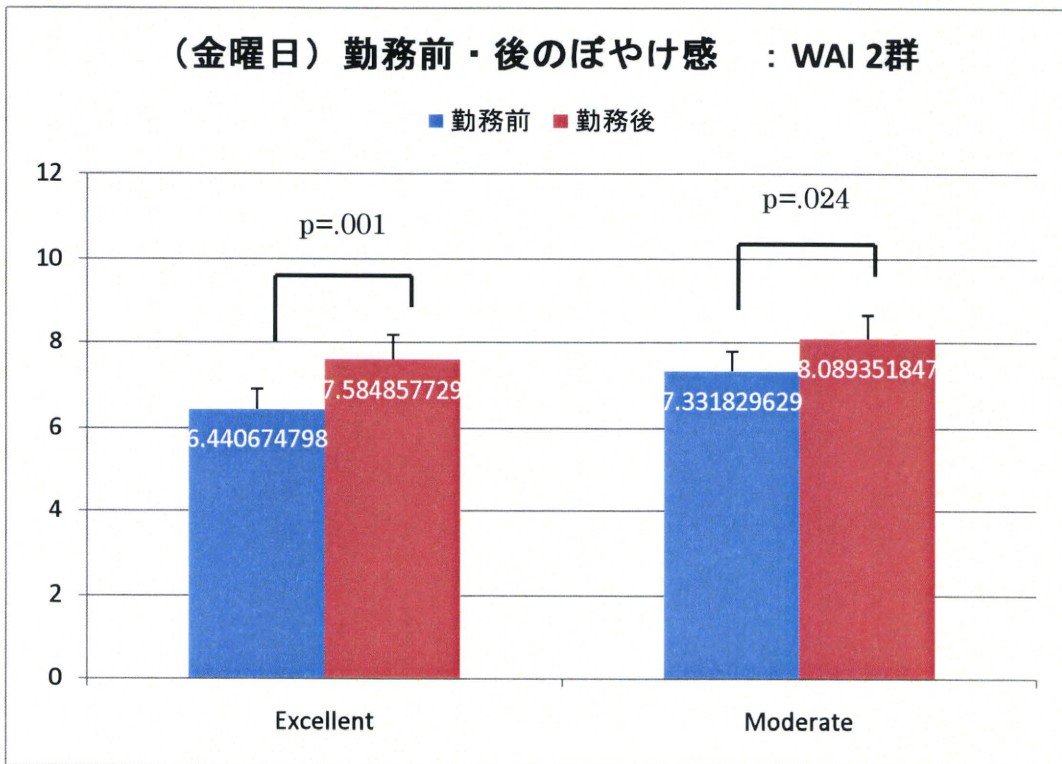


図 214 金曜日の勤務前・後のぼやけ感 (WAI2 群)

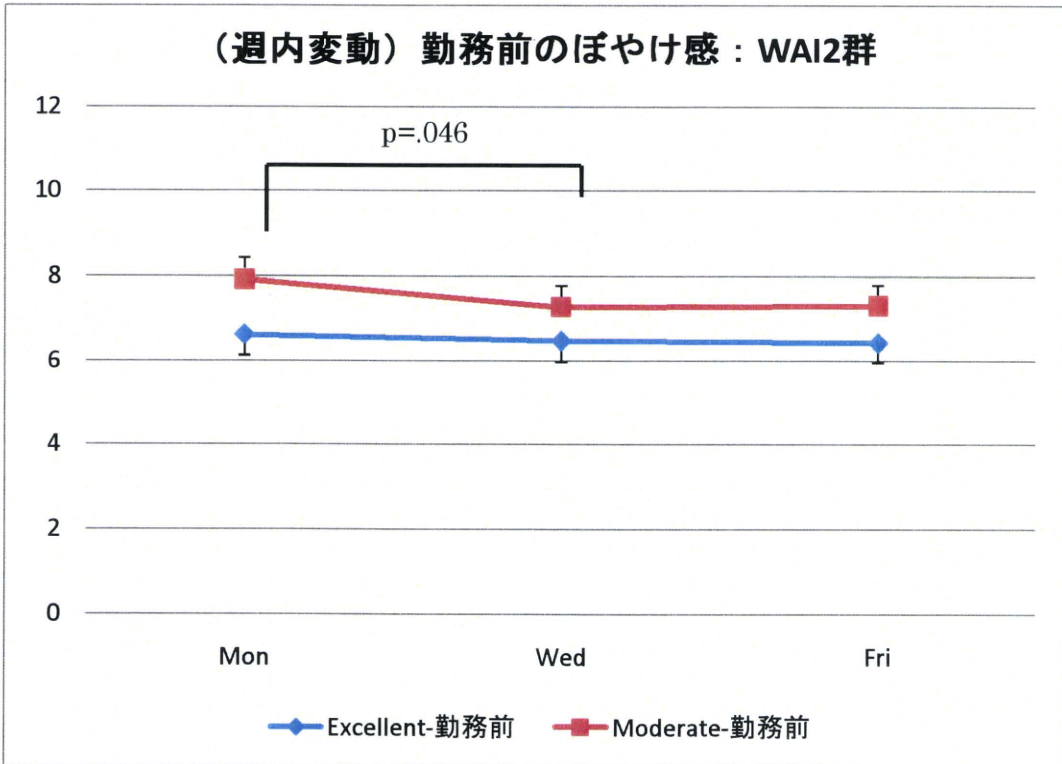


図 215 勤務前のぼやけ感の週内変動 (WAI2 群)

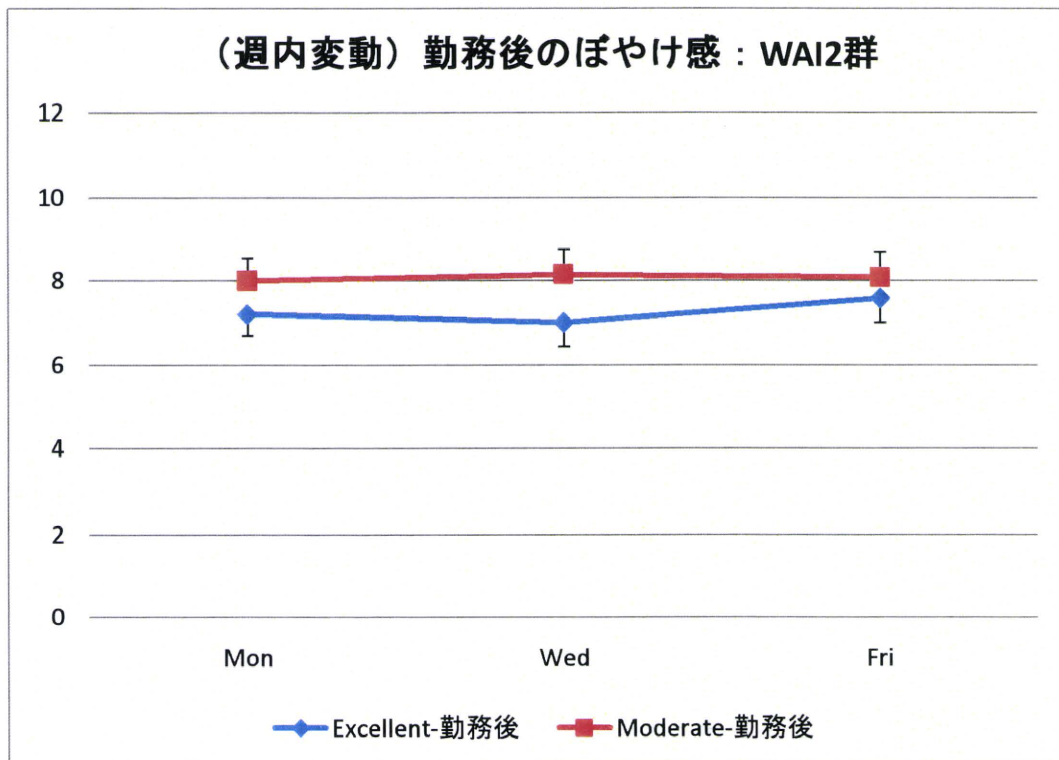


図 216 勤務後のぼやけ感の週内変動 (WAI2 群)

6) 自覚症全体

自覚症しらべ全体のスコアについて比較を行った結果、勤務前後の変化は有意ではなかった ($p=.186$)。また、勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動と WAI カテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAI の主効果は有意であった ($p=.016$)。Excellent 群は、Moderate 群と比較して有意に低い傾向が見られた。年齢の主効果は有意ではなかった ($p=.451$)。

勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、両群ともに有意ではなかった。各測定日の勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Moderate 群の水曜日 ($p=.021$)、金曜日 ($p=.039$) においてのみ、有意差がみられた。

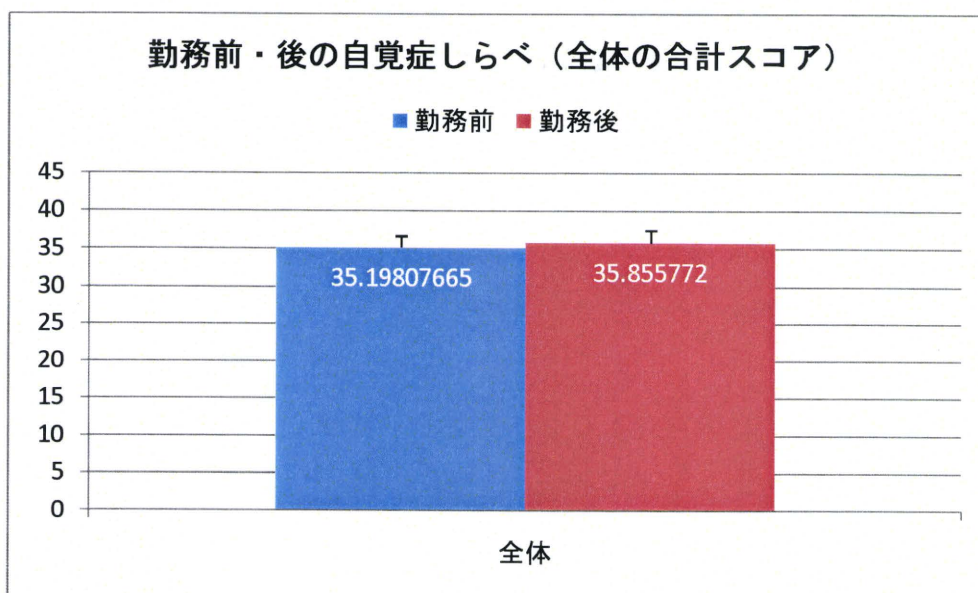


図 217 勤務前後の自覚症調べ (全体の合計スコア)

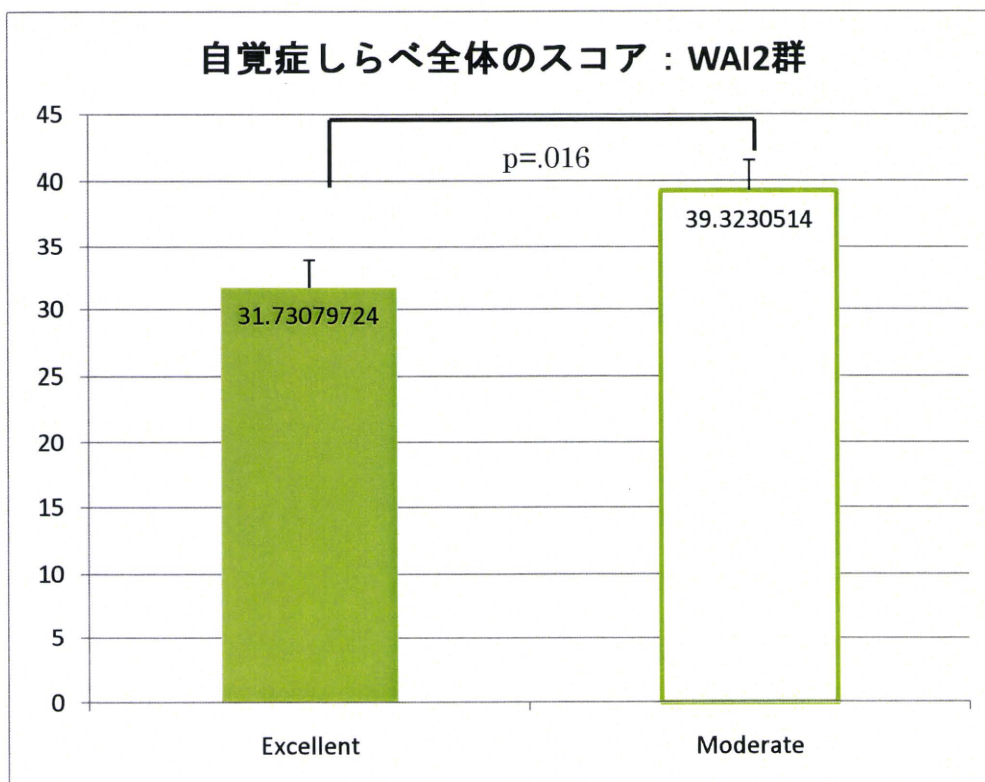


図 218 自覚症しらべ全体のスコア (WAI2 群)

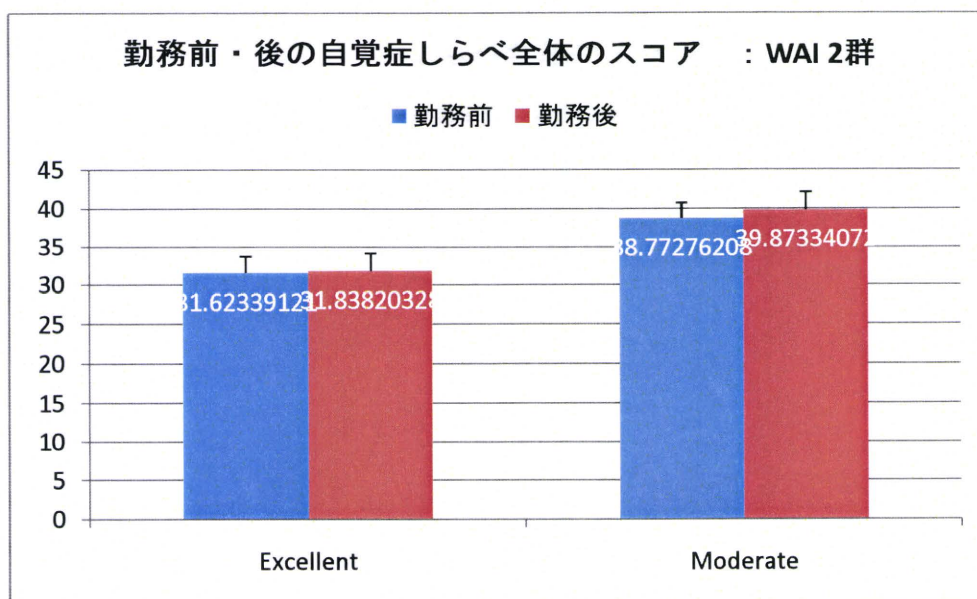


図 219 勤務前・後の自覚症しらべ全体のスコア (WAI2 群)

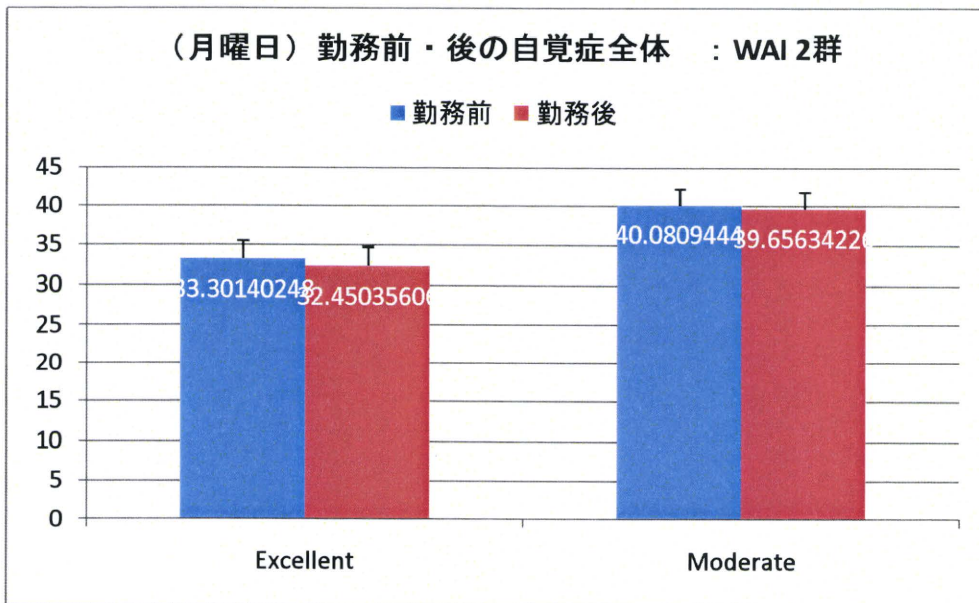


図 220 月曜日の勤務前・後の自覚症しらべ 全体スコア (WAI2 群)

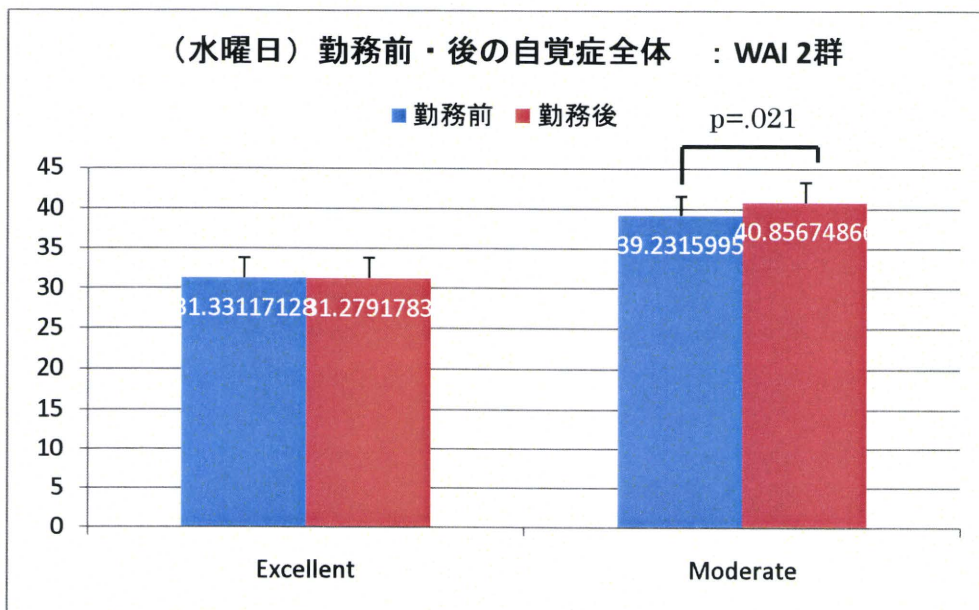


図 221 水曜日の勤務前・後の自覚症しらべ 全体スコア (WAI2 群)

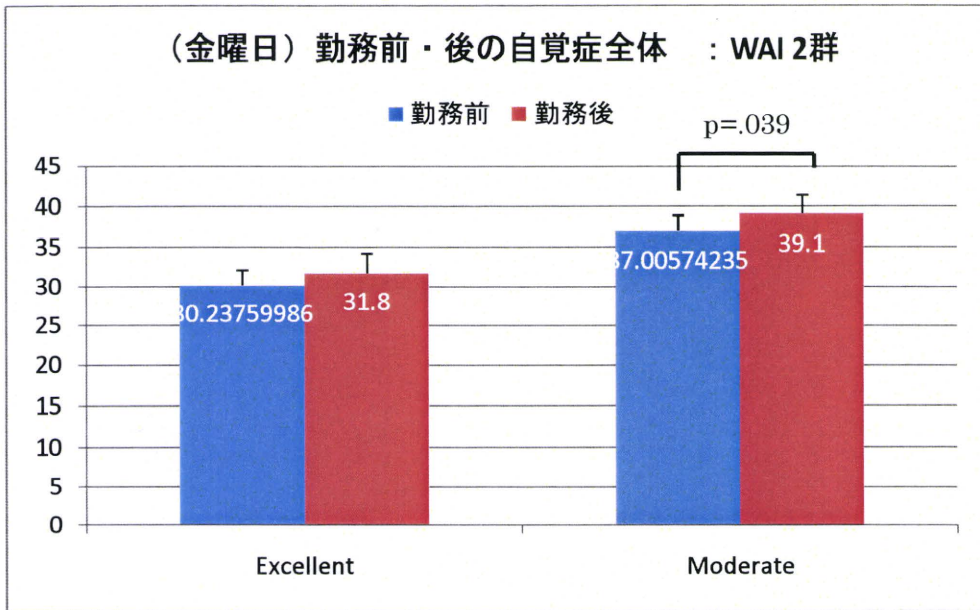


図 222 金曜日の勤務前・後の自覚症しらべ 全体スコア (WAI2 群)

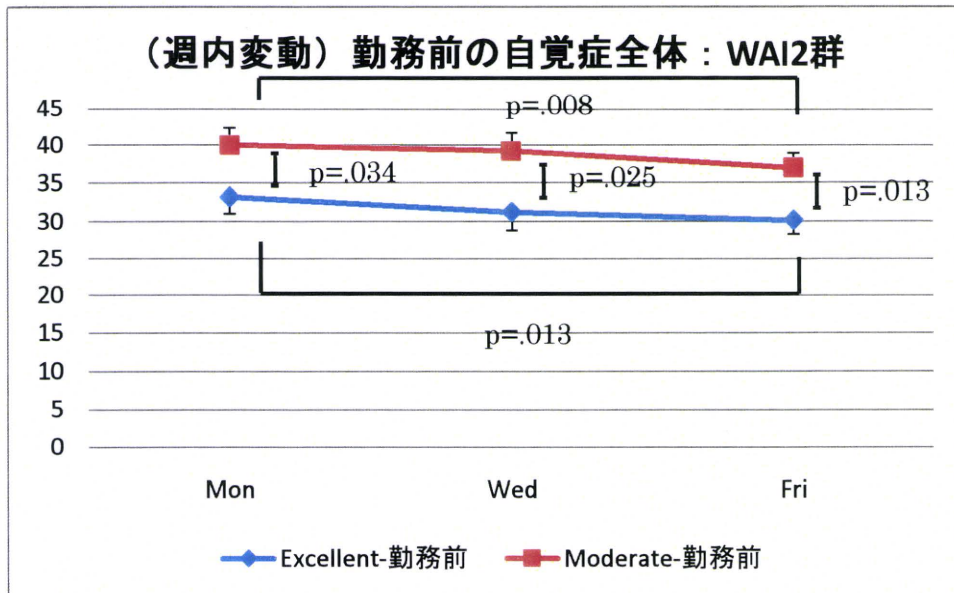


図 223 勤務前の自覚症しらべ全体スコアの週内変動 (WAI2 群)

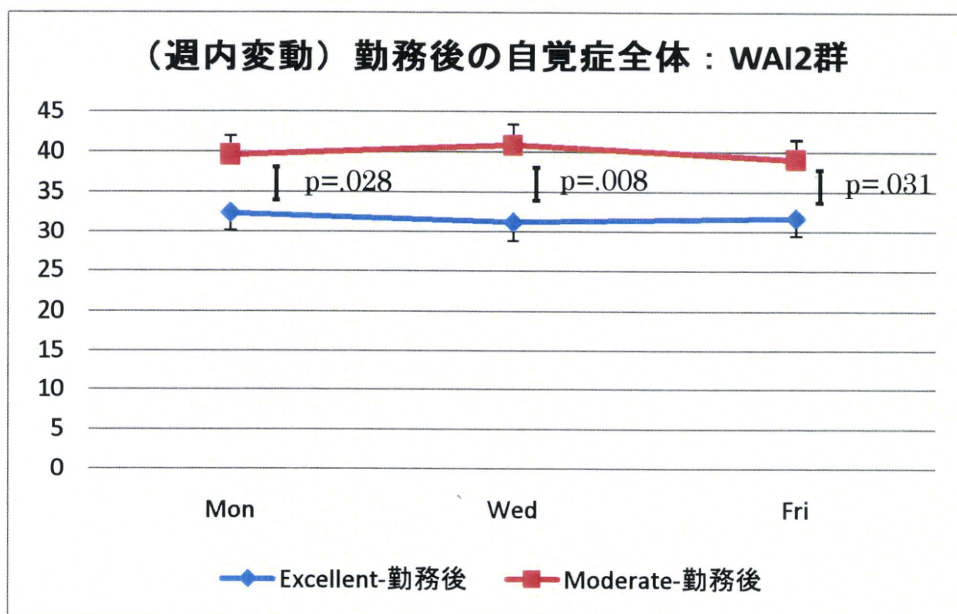


図 224 勤務後の自覚症しらべ全体の週内変動 (WAI2 群)

⑨ 唾液アミラーゼ測定

勤務前後の唾液アミラーゼについて比較を行った結果、勤務前後の変化は有意ではあった ($p=.026$)。勤務前後の変動と年齢、勤務前後の変動と WAI カテゴリとの交互作用は、どちらも有意ではなかった。

次に主効果について検討した結果、WAI の主効果は有意ではなかった ($p=.355$)。また年齢の主効果は有意ではなかった ($p=.771$)。

勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、両群ともに有意ではなかった。各測定日の勤務前後の変化について、WAI カテゴリ毎に検討したところ、Excellent 群における金曜日の変化は有意であった ($p=.012$)。Moderate 群に置いては、水曜日の変化は有意であった ($p=.010$)。

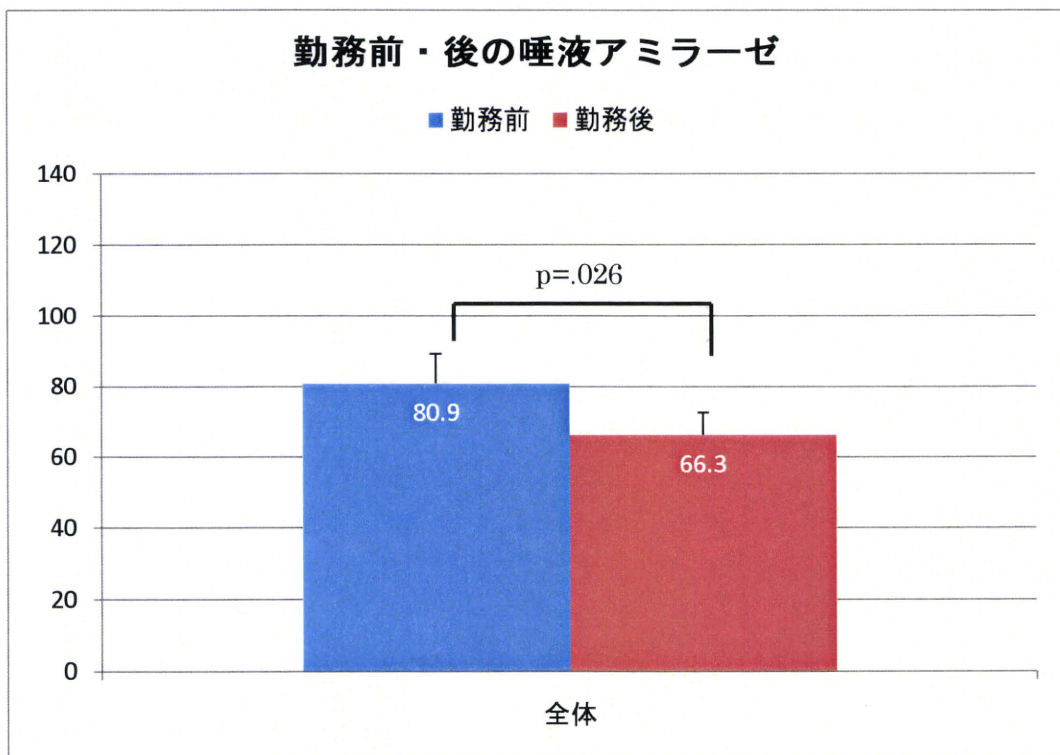


図 225 勤務前後の唾液アミラーゼ測定値